

平成28年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）
事業実施計画書及び所要額内訳書

法人名

合同会社 HAM 人・社会研究所

1. 事業実施計画書

テーマ番号	85
-------	----

①事業名	認知症に関する研修の普及および評価に関する調査研究事業
②事業実施目的	<p>新オレンジプランの重要な柱とされている「医療・介護サービスを担う人材の育成」の新規項目として挙げられた歯科医師および薬剤師、また、看護職員（管理者層向け）の認知症対応力向上研修のカリキュラム・教材が平成27年度老人保健健康増進事業において制作され、平成28年度からの実施が予定されている。地域包括ケアシステムの中で、これらを受講した専門職が適正に配置され、機能発揮するためには、都道府県・指定都市事業として展開されるこれらの研修の着実な実施が必要となる。</p> <p>また、同じく介護職向けの認知症研修も、平成28年度より、新しく実施される基礎研修、また、新しいカリキュラムがスタートする既存の介護従事者に対する研修についても、多くの受講ニーズがあることを踏まえ、着実な研修の実施が進み、適切に受講機会が提供されているかを検証する必要がある。</p> <p>そこで、医療職向けの研修群については、都道府県・指定都市事業として企画立案および実施計画について自治体等に対する実態調査を行い、関係機関との連携や既存研修との同時開催などの工夫等の事例を収集、フィードバックすることを目指す。また、介護職向けの研修については、既存の実施の枠組みの整理や充実のみならず、実施主体の多様化や研修のバリエーション確保など、研修を受講したいと希望する介護職に適切に受講機会が確保されるような方法論を検討する。</p>
③事業実施計画	<p><u>1 委員会による検討・評価</u></p> <p>(1) 医療職研修研究班 4回開催予定（8名程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師、薬剤師研修等の実施状況の把握と評価 ・効果的な研修実施のための支援策の検討 <p>(2) 介護職研修研究班 3回開催予定（8名程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存研修（実践者研修等）の受講機会充実のための検討 ・受講ニーズの把握 ・研修機会が確保されない事情等の課題収集と整理 <p><u>2 実態把握のためのアンケート調査、ヒアリング調査の実施</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修実施状況把握のための自治体アンケートの実施 ・効果的な企画運営を行う自治体へのヒアリング調査の実施

(続き)	<u>3 医療職研修の実施支援</u> ・看護職員研修(H27年度作成)の伝達講習会の実施 ・認知症サポート医養成研修等の教材改訂(修正)作業
④国庫補助所要額	千円
⑤事業実施予定期間	平成28年5月31日 から 平成29年3月31日 まで
⑥事業実施予定場所	合同会社 HAM 人・社会研究所 他
⑦事業内容	(別紙に記載)
⑧事業の効果及び活用方法	<p>○地域包括ケアシステムにおいて、認知症の人・家族に対応できる研修受講によって一定の知識や技術を身に付けた医療専門職が配置されることで、認知症医療とケアの基盤が強固なものとなる。</p> <p>○研修会の開催が一過性となるのではなく、安定・継続的に実施されることで、受講者(修了者)を地域包括ケアシステムの中に適正数配置することが可能となる。</p> <p>○介護職に対する認知症研修の体系について、受講機会確保の観点から、受講ニーズに応える実施方法等を提示することができる。</p>